

みずほCustomer Desk Report 2016/07/08 号(As of 2016/07/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.01 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.15	1.1097	112.20	0.9753	1.2917	0.7513
SYD-NY High	101.41	1.1108	112.31	0.9792	1.3048	0.7539
SYD-NY Low	100.60	1.1053	111.24	0.9742	1.2876	0.7467
NY 5:00 PM	100.70	1.1064	111.45	0.9793	1.2912	0.7478
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.895/14.445	△25RR	1.948	Yen Call Over		

NY DOW	17,895.88	▲ 22.74	債券市場	日本2年債	-0.3410	▲1.1bp
NASDAQ	4,876.81	17.65		日本10年債	-0.2740	▲0.9bp
S&P	2,097.90	▲ 1.83		米国2年債	0.5892	1.2bp
日経平均	15,276.24	▲ 102.75		米国5年債	0.9607	1.8bp
TOPIX	1,226.09	▲ 8.11		米国10年債	1.3850	1.7bp
シカゴ日経先物	15,360	▲85.00	為替市況	独10年債	-0.1700	0.6bp
ロンドンFT	6,533.79	70.20		英10年債	0.7810	1.6bp
DAX	9,418.78	45.52		豪10年債	1.8670	0.4bp
ハンセン指数	20,706.92	211.63		USD/CNH	6.7009	0.0041
上海総合	3,016.85	▲ 0.45		ドルインデックス	96.25	0.20
USDJPY 3M Vol	12.83	▲0.33%	商品市況	CRB指数	185.702	▲4.25
USDJPY 6M Vol	12.29	▲0.25%		NY金	1,362.100	▲5.00
EURJPY 3M Vol	13.91	▲0.15%		WTI	45.140	▲2.29
EURJPY 6M Vol	13.45	▲0.29%		Dubai Spot	44.92	0.49

東京	午後一時間に高値101.41をつけたドル円は、前日海外時間に続いたドル買いの巻き戻しが入り101.15レベルまで下落して東京時間オープン。朝方、黒田日銀総裁が「景気は基調として緩やかな回復が続いている」「コアCPIは当面小幅のマイナスないしゼロ程度で推移するが、物価の基調は着実に高まり2%に向けて上昇率を高めていく」と発言したものの、相場への影響は限定的で101円ちょうど近辺での推移が継続。その後、米格付け会社が豪州の格付け見直しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたことを受けて、豪ドル売り優勢となる中、豪ドル円の下落につれてドル円は100円台後半まで下落。午後に入って再び101円台を回復する局面もあったものの、日経平均株価が前日比100円超の下落となる中、ドル円は安値100.63をつけ、結局100.78レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、100.78レベルでオープン。欧州株が堅調推移したことや、日銀名古屋支店長が「円高は輸出製造業の収益を押し下げ、経済に影響を及ぼす」と円高リスクを強調したこと等から、ドル円は強含みで推移。一時101.20まで上昇し、100.97レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1087レベルでオープン。独5月鉱工業生産(前月比)が予想(+0.1%)に反し、▲1.3%と悪化したことを嫌買い、1.1057まで下落。その後は、午後に発表される米6月ADP雇用統計や8日(金)に発表される米6月雇用統計を控えて様子見ムードとなる中で下げ渋り、結局1.1074レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2982レベルでオープン。英不動産ファンド解約増と取引停止の動きから連日暴落していた不動産株を中心に買い戻しの動きが出て英株が堅調に推移したこと、ポンドも1.30台を回復。英首相候補の1人であるレッド・スミス・エルク・担当閣外相が、EU離脱後も加盟国間自由貿易を保障する意向を示したこともポンド買い戻しを誘い、1.3048まで上昇。1.3009レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は100.97レベルでNYオープン。朝方は、米ADP雇用統計が5月分がやや下方修正されたものの6月分は予想を上回ったことや、続いて発表された米新規失業保険申請件数が予想増増加せず、4週移動平均も低下したことが明らかになった。これらを受けて8日(金)の米6月雇用統計に対する期待から101.23まで上昇。しかし後述のスペインとポルトガルに関する報道を受け、ユーロの売りが優勢となり、100.83まで下落する。その後はやや買い戻される局面もあったものの、前日比プラス圏で推移していた米株がマイナス圏へ下落する展開に100.60まで下落する。午後もし値の重い展開が暫く続くが、終盤に掛けて米株が下げ幅を縮小させたことでドル円は下げ渋り、100.70レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1074レベルでNYオープン。朝方は、米ADP雇用統計結果を受けたドル買いに、1.1068まで下落する。その後はドル売りが優勢となり、1.1100まで戻すものの欧州委員会が財政赤字制限に違反したとしてスペインとポルトガルに対する制裁措置を勧告したとのヘッドラインを受け、ユーロ売りが強まり1.1065まで反落する。その後も株式市場が軟化する展開にユーロ円の売りが強まったことから、ユーロドルも1.1053まで下落し、結局、1.1064レベルでクロスした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:田才・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月7日	08:50	日 対外対内証券投資	-	-
	09:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	15:00	独 鉱工業生産(調整済・前月比/前年比)	5月 -1.3%/-0.4%	0.1%/1.5%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 -0.5%/1.4%	-1.0%/0.5%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 -0.5%/1.7%	-1.2%/0.4%
	20:30	欧 ECB議事要旨(6/2分)	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 172K	160K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 254K	269K

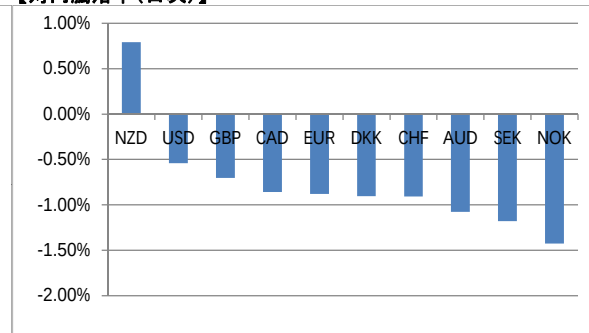
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月8日	08:50	日 国際収支(経常収支)/貿易収支	5月 ¥1,751.2B/¥56.0B	¥1,878.5B/¥69.1B
	14:00	日 景気ウォッチャー調査(現状/先行き)	6月 43.1/46.7	43.0/47.3
	15:00	独 貿易収支/経常収支	5月 23.5B/24.6B	25.6B/28.8B
	17:30	英 商品貿易収支	5月 -£10.700M	-£10.526M
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 180K	38K
	21:30	米 失業率	6月 4.8%	4.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.7%	0.2%/2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.00-101.80	1.1000-1.1100	109.50-112.50

【マーケット・インプレッション】

前日の海外市場のドル円相場は上値重く推移した。この日発表された米6月ADP雇用統計や米新規失業保険申請件数が予想比強めの結果となったものの、ドル円の戻りは一時的なものに留まっている。本日は米6月雇用統計が発表される為、その結果を受けてドル円が値幅を伴った動きとなることが想定されるが、ドル円の本格的な反発は期待薄だ。Brexitの影響について、不透明感がこの先も払しょく出来ない状況が続くであろう中、米利上げは(出来るとしても)その時期が遠のくことは避けられそうにない。今回の米6月雇用統計が仮に強く出たとしても、米利上げ期待が高まることは難しく、ドル円の反発は一時的なものとなろう。寧ろ弱い結果となる場合100円割れとなる可能性には注意が必要だ。直近安値である99.00円を下値目途としたい。